



# 鹿児島県護憲平和 フォーラム情報



NO-167 2024.9.2

発行：鹿児島県護憲平和フォーラム Email:kenheiwa@bronze.ocn.ne.jp  
連絡先：鹿児島市鴨池新町5-7 TEL 099-252-8585 FAX099-258-4560

巻頭言

副代表 上猶 覚

沖縄・辺野古のゲート入り口の座り込みをしている人々は、機動隊によってこんなふうに排除されるんだ。

青森・六ヶ所村の日本原燃再処理工場の隣に、石油備蓄タンクが、その先にはたくさん風力発電の風車が並んで立っていた。

沖縄・普天間基地で平和行進をしているわたしたちに手を振る沖縄の子どもや行進の列に向かって軍歌を響かせ、ヘイトスピーチを繰り返す右翼の街宣車。

実際に見たり、体験してこれまでこの運動を続けてきた先輩方の地道なそして揺るがない反戦・反核の取り組みの大きさに身体が震えた。

しかしながら、奄美に自衛隊が配備されただけでなく、次々と新たな軍事施設が建設されている。豊かな漁場に囲まれた馬毛島は、その姿を無惨にも茶色く変貌させられている。そして、さつま町への弾薬庫建設で反対の動き。鹿児島県内ばかりでなく、

沖縄・与那国島から九州まで次々と軍備を新設・配備・強化されている。

「新しい戦前」と言われる雰囲気、肯定的に広がっていることを感じている。今年、6月23日沖縄全戦没者追悼式で読まれた平和の詩の中に「七十九年の祈りですえもまだ足りないというなら・・・」とあった。戦後79年、日本は、平和な世界を目指してきたはずではなかったのか。

6月の総会で県護憲平和フォーラムの副代表をさせていただくことになった。県内をはじめ、九州や全国に同じ気持ちで運動を続けている仲間と知り合うことができた。とりわけ、わたしよりはるかに若い世代の仲間と一緒に行動したり学べたりする機会が増えた。仲間を結び、広げ、この運動を続けていくこと、繋いでいくことに微力ながら頑張らせていただきたい。



## 9・18 不戦を誓う日の集会 ご案内 (鹿児島会場)

関東軍の自作自演の柳条湖事件を歴史の教訓にしようと毎年9月18日に学習会を開催しています。「私の環境活動・選挙・平和外交・平和集会などの活動を通じてみてきたものと対話の重要性」と題して、沖縄で活動する若者の発信を受け取ってください。

日時：2024年9月18日(水) 18時~19時45分 場所：鹿児島市国際交流センター  
講師： 神谷 美由希さん(沖縄対話プロジェクト発起人)

### 第 151 回定例研究会を開催(県地方自治研究所)

7 月 27 日鹿児島県地方自治研究所は第 151 回定例研究会を開催しました。今講演会は、研究所理事長でフォーラム共同代表でもある、平井一臣名誉教授の鹿児島大学退任を契機として、鹿児島での研究・運動のまとめとして企画されました。



冒頭、自らの生い立ちから、鹿児島で研究生活を始めるに至ったことが伝えられ、まず鹿児島で体験した「保徳戦争」の激烈さが語られました。なお当時は政治と金の問題から選挙制度改革が叫ばれていましたが、その流れの小選挙区制導入には講師は反対の論陣を張り、むしろ比例代表制に軸足を置いた改革の必要性を唱え、翻っている自民党の裏金問題をもっと糾弾すべきであると強調されました。



### さつま町の「弾薬庫建設」に反対し、自衛隊施設誘致の撤回を要求

8 月 20 日の午後から、鹿児島県護憲平和フォーラムは、さつま町の弾薬庫建設と自衛隊施設の誘致に反対し、撤回を求める要請を町長と議長に行いました。

私たちは、地元で結成されたさつま町の「弾薬庫建設を考える会」を支援する立場で、「弾薬庫建設」に反対し、自衛隊施設誘致の撤回を求めました。今後は、隣接する霧島市、湧水町、伊佐市の始良伊佐ブロックと薩摩川内市、出水市の北薩ブロックと連携を強化してとりくみを進めていきます。



### ストップ！ 弾薬庫建設（北薩ブロック平和運動センター）

8 月 3 日（土）に、宮之城ひまわり館で「さつま町の弾薬庫問題を考える会」の会議と共に第 4 回の学習会を開催し、今後どのような活動や運動をすべきか協議しました。今後もスタンディングや署名、チラシ配り、街宣活動に加え、町長や議会への要請行動なども精力的にすすめていく事を確認されました。5 月から町内各地で「弾薬庫いらない・NO！弾薬庫」と書いた手作りのプラカードや横断幕を掲げスタンディングを行ってきました。8 月 17 日には 5 回目となるスタンディングを、宮之城鉄道記念館で 43 名が参加して行いました。



支部の教研や連合の平和学習会等で積極的に、さつま町の弾薬庫問題を提起し、ともに考え反対運動をする仲間の掘り起こしをしてきました。参加者からは「こんなことになっているとは、知らなかった」「もっと仲間に知らせて、運動をしていきたい」という感想をもらい、絶対弾薬庫建設を阻止するぞ！！という思いがさらに強固になってきました。一緒に反対運動をたたかってください！！

**大隅ブロック平和運動センター**では、終戦79周年となる8月9日に鹿屋市イベント広場において(反戦・反核・脱原発平和運動をすすめる大隅市民の会)と共に第78回広島・長崎原爆被爆者追悼祈念集会を開催しました。市民の会の松下徳二氏の挨拶、平和センターから下柳田の挨拶の後、約30名の参加者の中から10名の方々が、自公政権がすすめる戦争のできる国への策動に対する強い危機感や、沖縄や南西諸島の軍事基地化に対する懸念、平和運動の重要性などをマイクを通じて訴えました。原爆投下時刻のサイレンに合わせ黙禱を捧げ、平和への誓いあい散会となりました。



**奄美ブロック護憲平和フォーラム**は、『武力で平和はつukれない』をさらに広めようと『**南西諸島の軍事要塞化の写真展**』を開催しました。写真展の主催は「奄美の自然と平和を守る郡民会議」として、群島民全体に奄美の自衛隊駐屯地・配備後の島のゆったりとした空気の移り変わりを感じてもらいたく、南西諸島の各島々との比較・共通点を見ていただくなかで、自衛隊の実態について知ってもらい、南西諸島の平和を考えるきっかけにして欲しいとの願いも込めて開催しました。見学に訪れた親子連れの会話には、「こんな事をしていたら、もし戦争になったら真っ先にやられるがね」「何で台湾有事のために南西諸島の人たちが犠牲にならんといけないの」という素朴な疑問も投げかけていました。



**8・15「不戦を誓う日の集会」 in 奄美** 毎年8月15日に「奄美憲法九条の会ネット」主催で、『敗戦記念日集会』を開催しています。奄美市などの行政は「終戦記念日」と銘打って、公民館等で、戦没者慰霊祭を行っています。また、一般市民は、正午に「吹鳴」を聴き、黙とうをささげています。



今年の「敗戦記念日集会」では、日本体育大学教授・憲法学の清水雅彦先生をお招きして上記の標題で講演をいただきました。

清水先生は、日米地位協定の問題点や、地位協定が守られていない現状を指摘した上で、米軍機の低空飛行等をやめさせるには「航空法特例法を改正し、安全性確保の規制を米軍に課すべきだ」と話され、「空域使用は許可制とし、横田・岩国空域の米軍による管制権がないことを地位協定に明記すべきだ」と指摘しました。

## 8・15 不戦を誓う日の集会 演題「戦争への道。今再び歩かない」

県護憲平和フォーラムは今年度から「護憲集会・不戦集会」(年5回、[2.11 紀元節復活反対集会]、[5.3 憲法記念日集会][8.15 不戦集会/敗戦の日][9.18 不戦集会/日中戦争の始まり][12.8 不戦集会/太平洋戦争始まり] 開催を各



